

様式

県立川越特別支援学校の活性化・特色化方針  
(平成29年度～)

1 学校基本情報

種別	知的障害	学部・学科	小・中・高等部	児童生徒数	(男)152 (女)80	計 232
ホームページ	<a href="http://www.kawagoe-sh.spec.ed.jp/">http://www.kawagoe-sh.spec.ed.jp/</a>					
アクセス	J R川越線南古谷駅より徒歩30分 西武新宿線本川越駅、東武東上線川越駅東口、J R川越線東口より西武バス川越グリーンパーク行き古谷上バス 停下車徒歩10分					
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の障害や発達に応じた、持てる能力の開花を積極的に図る教育活動。</li> <li>・高等部では、認識・社会性の2つの軸を基準にして3つのグループに分け、一人ひとりに合わせた作業学習を実施。</li> </ul>					
特色ある学校行事や部活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部、学年を超えた仲間の中で、協力し合い楽しみながら取り組む運動会。</li> <li>・小・中・高のステージ発表やゲーム等で盛り上がる文化祭(かわYO!祭)。</li> <li>・特別支援学校陸上競技大会・バスケットボール大会・サッカー大会には選抜した選手が出場。</li> <li>・遠足、宿泊学習、野外体験学習、社会体験学習、交流会、進路見学、現場実習などを通じた経験領域の拡大。</li> </ul>					
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学部学年ごとの授業参観を年1回以上実施。</li> <li>・11月には全校で土曜授業参観の実施。</li> <li>・保護者向け進路説明会や施設見学会の実施。</li> <li>・近隣小学校との交流及び共同学習。</li> <li>・市内合同学芸会発表。</li> </ul>					
進路について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職は3割、施設などの利用が7割となっている。</li> <li>【企業就労】食品加工業(食材の仕分け、ピッキング)、サービス業(スーパー)、老人保健施設(清掃、厨房)</li> <li>【福祉的就労】川越市、鶴ヶ島市、川島町、富士見市、所沢市の障害者支援施設に就労</li> </ul> <p>小学部・中学部の生徒は、それぞれ中学部・高等部へ進学しています。</p>					

( 児童生徒数：H29.5.1 現在、進路は H29.3 卒業生の状況 )

本校の魅力！

児童生徒のもつ可能性を最大限に伸ばして、自立と社会参加で  
できる力を育み、共生社会の実現に向けて地域と連携する学校



小学部 自立活動



中学部 調理



高等部 進路見学



小学部 社会体験学習



中学部 修学旅行



高等部 学芸発表会



# 県立川越特別支援学校 ~ 児童生徒の成長物語 ~

## 《概要》

- ・昭和47年4月、県下初の知的障害児が通学する県立学校として開校
- ・小学部、中学部、高等部の3つの学部
- ・個々の障害や発達に応じ、持てる能力の育成を図る教育活動
- ・児童生徒は、1市1町からスクールバスや電車、路線バス等を利用して通学
- ・平成20年4月、県立川越初雁高校内に川越たかしな分校（高等部単独）開校
- ・平成21年4月、条例改正により埼玉県立川越特別支援学校に校名変更

## 《学校行事》

運動会・かわYO!祭は、小学部・中学部・高等部合同で行われ、大盛況です。



## 【小学部】

- 「自分でやってみよう」
- 「元気な体をつくろう」
- 「友だちと楽しくあそぼう」



## 学校教育目標

かんがえる子 つづける子 つたえあう子

## 目指す学校像

児童生徒のもつ可能性を最大限に伸ばして、自立と社会参加できる力を育み、共生社会の実現に向けて地域と連携する学校

## 重点目標

- 1 障害特性を踏まえた指導の充実と教育課程の編成
- 2 特別支援教育の専門性の発揮と開かれた学校づくり
- 3 自立と社会参加に向けた職業教育と進路指導の充実
- 4 尊敬と対話に基づく安心・安全な学校づくり

## 【中学部】

自分で考え行動する。  
健康な心と身体をつくる。



## 【高等部】

生きる力を育て、  
社会人としての基礎を築く。



- ・高等部の3年間で、将来の社会自立に向け段階的に現場実習に取り組んでいます。
- ・教育課程複数化により、個に応じた能力を最大限に伸ばします。

## 《地域との連携～共生社会の実現に向けて～》

地域における理解者・支援者を増やし、児童生徒が卒業後も持っている力を最大限に発揮できる地域づくり

- ・福祉・医療・労働などの関係機関と連携した支援の充実
- ・支援籍学習の拡大と充実
- ・交流及び共同学習(学校間交流)の充実(川越市立古谷小学校、埼玉県立川越総合高校)
- ・小中学校・高等学校教員等への支援・研修協力による障害理解の推進
- ・公開講座・ボランティア講座の充実による地域への情報発信と理解推進
- ・地域の社会福祉協議会との連携・協力

## 《作業学習》

中学部・高等部には『作業学習』があります。  
「農園芸」・「紙工芸」・「手工芸」・「木工」・「陶芸」の5つの作業班で活動しています。  
作業学習は、実社会につながる学習です。それぞれ専用の特別教室があり、設備内容の充実度は、県内でもトップクラスです。製品は、文化祭・職業フェアなどで販売し、大変好評を得ています。



## 《部活動》

中学部・高等部には部活動があります。

- 中学部：ランニング部・ダンス部
- 高等部：太鼓部・ダンス部・球技部・運動部  
パソコン部・ウォーキング部・芸術部・将棋部